

トラウマ [編集する](#)

2009年07月18日 02:21 [友人の友人まで公開](#)

6 view



病み上がりの身体。でも山に行きたい身体。

というわけで、トレーニングがてら、丹沢へ行ってまいりました🌤️

宮ヶ瀬の登山口で出会った登山客に挨拶をすると、何気ない会話の中から、とてもおぞましいキーワードを拾ってしまった...

「この季節とこのルートは、天気よりもヒルが怖いよねえ😓」

そして、この登山客は、さっさと先に登り始めてしまった...

そうだ、すっかり忘れてた...🤔

ヒル...👹

裏丹沢は、「蛭ヶ岳(ひるがたけ)」という名前の山があるくらい、夏はヒルが出るのです。。👇👇👇

-----

(回想シーン)

その昔、ヒルという生物の存在を知らなかった 18 の頃、初めての山で、下山後に仲間たちが何やら騒ぎだし、ふと自分の足元を見れば...



ナメクジのような生物が、靴下から這い出てきて、退散しようとしている。それは血をたっぷり吸った直後の姿らしく、、、そうか、君がヒルなのか... 🤩



そして、温泉に入ろうとシャツを脱いだら、ガーン... 🤩

へその横に血痕が... 🤩

さらに、すねからの血が止まらない... 🤩

いつのまに... 🤩

というか、何なんだ、この生物は----- 🤩

それはもう、身の毛がよだちまくり。。。 🤩

(→その後、図書館でヒルについて調べたような📖)

-----  
さて、現実に戻り、どうしよう... 🤔

レインウェア(フード付き)を被れば、暑くて体力が消耗する ↓

肌をさらけ出していればヒルへの不安がつのり、精神力を消耗する ↓

今なら、東京に引き返せる。。。💡

まあ、レインウェアを着てても、ヒルに血を吸われるときは吸われる、と開き直って出発したものの、結局、宮ヶ瀬～丹沢山までは、誰とも会わず、心臓バクバクで歩く👉

ここがマイナールートというより、皆さんヒルを恐れて通らないのでは!?!

ということは、やっぱり出るのかヒル野郎...!?!

と疑心暗鬼はいつまでも続き、常に頭は、ヒル、ヒル、ヒル... 🤔

丹沢山山頂付近で初めて登山客に会った時、ようやく救われたような気がした ✨ ザックを下ろし、「すみません、背中を見てください。血がついていませんよね!?!」と聞くことも忘れなかった 🤔

そして、病み上がりだったこともあったけど、妙な気疲れも残った。それにもともと、ももとふくらはぎは筋肉痛だったし、なんだか、今日はもういや、という気分になり(=墮落は早いね)、頭はすでに下山モード 🤔

本来は、鍋割山を回るつもりもカット。その分、塔ノ岳でのんびり。塔ノ岳まで来れば、表丹沢のメインルートに合流するので、わんさか人もいるし、呪縛から解放された気分で下山 ✨

温泉🔥で恐る恐るズボンを脱ぐと、ああよかった、わが身体よ、どこも汚されてないではないか!!😓

そんなこんなで、山は時として、トラウマに立ち向かわねばなりません🔥

8:00 宮ヶ瀬登山口

9:10-9:20 高取山

11:00-11:15 本間ノ頭

12:40-12:55 丹沢山

13:45-14:20 塔ノ岳

16:15 大倉

はい、これを糧に、また次の山へれっつだごー👊